

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 天心会	代表者	飯塚 卓	法人・ 事業所 の特徴	「利用者様が住み慣れたご自宅・地域で『その人らしく』生活できるよう寄り添い支援します」を事業所理念とし、利用者様が自分らしく安心して過ごせるよう、また、介護者様の不安や負担を軽減できるようサービスの提供を行います。 また利用者様、家族様の「思い」を大切に受け止め、利用者様が望む生活が送れるよう、利用者、家族との交流を深め、お一人お一人のご意向を大切にしています。 ご家族とともに医療機関や系列の専門職種との連携をしながら、心身の変化に対応すべく情報共有に努めます。
事業所名	ユースフルまつやま	管理者	大河原 周子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			より良いケアについて研修している内容をよく理解していないと評価するのは難しい。ただ、達成していることはきちんと自信をもつことも必要。利用者家族としては、その姿に安心する。	評価方法を次年度、再度職員に十分周知してからおこなう。 事業所の評価なのか個人の評価なのかというところも、事前に周知する
B. 事業所の しつらえ・環境			概ねよし。	引き続き、運営推進会議でいただくご意見を参考に、環境整備していく。 また同様に地域の方が入りやすい環境について、ご意見をいただいく。
C. 事業所と地域のかかわり	地区の集まり出席など、いただいた機会に、お顔が見える事業所になれるようおじゃまする。	春は花見、芋煮会、新年会と顔を出している。朝早くからの一斉清掃にも来てもらい、よく参加している。	同じ職員だけが参加だが、システム上仕方ないのかと思うが、いろいろな人来てほしい。	引き続き、地域の集まりにお邪魔していく。清掃の場面にもお邪魔する。同じ職員だけでなく複数職員でお邪魔する体制を、法人委員会などで話し合っていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み	担当者と一緒にサービス担当者会議に伺う。自宅や地域での生活を知ることから始める。	概ねよし。	概ねよし。	引き続き、サービス担当者会議を通して利用者お一人お一人の住む自宅や地域での生活を知る取組を進めるとともに、村松三区の地域に参加していく。 後述の通り、運営推進会議の場にて、事業所の対象かどうかに関わらず地域の心配な方のことを話

				題にしやすい、然るべき機関につなげられるような進行に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の現状を、運営推進会議を通して定期的に知っていただき、利用対象の方をお伝えしていく。	地域の心配な方のことについては、話を出していいのかというプライバシーの問題がある。出席者の親戚のことで質問が出た時もあり、必要時には話せていると思う。	概ねよし。	引き続き、運営推進会議を通して、事業所の現状や特長、利用方法などを定期的に知っていただき、利用対象の方をお伝えしていくとともに、利用対象外の方であっても話題にしやすい、然るべき機関につなげられるような進行に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	定期的にマニュアル通りに避難訓練を行うのではなく、万が一の場合に実際に動けるような避難訓練を行う。 ※形だけの応援要請ではなく、実際にかけつけてもらう、等。	今年度もマニュアル通りの避難訓練に終始してしまった。	事業所で避難訓練を行っている話はよく聞くが、実際には参加したことはない。 地域のこれまでの経過として、防災訓練が行えていない事情がある。	運営推進会議の機会を利用して、地域の方と合同の避難訓練について話し合う。 次年度計画として、災害想定にてすこやかと合同で地域の方と合同の避難訓練の実施、その中で地域の一人暮らしの高齢者や高齢世帯、その他避難の要配慮者、避難行動要支援者の避難について事業所の活用方法などをご相談の機会をいただく。